

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	乳癌骨転移に対する骨吸収抑制薬投与による顎骨壊死の頻度とリスク因子の検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	肝胆膵・乳腺外科 准教授 亀井 義明
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028 年 9 月 30 日
対象となる方	2015 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の間に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち骨転移を有する乳癌と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	骨転移に使われる骨吸収抑制薬の副作用として薬剤関連顎骨壊死の合併症が広く知られていますが、実際長期に骨修飾薬を投与された場合の顎骨壊死の頻度や、起こしやすい因子などは分かっていません。 そのため、当院で骨吸収抑制薬を投与された乳癌骨転移の方のデータから頻度や起こしやすい因子をカルテから得られる情報から解析予定です。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。 患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利

	用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科 村上朱里 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5327